

ひのほら 議会だより

11

2015.11.1
No.143



目 Contents 次

第5回東京ヒルクライム～HINOHARA ステージ大会が開催されました。

- P.2 認定されました 9月18日 本会議において決算を認定
- P.4 議案と議決結果
- P.5 各委員会報告
- P.6 一般質問 8名 16問

平成26年度 一般会計 7特別会計

歳入総額 56億3千235万6千円

(内7特別会計 20億3千880万3千円)

歳出総額 54億7千551万8千円

(内7特別会計 19億5千445万7千円)

※一般会計決算額の中には、特別会計への繰出金
6億7千765万3千円が含まれています。

9月18日 本会議において決算を認定しました

月 日	会 議 名	内 容
9月4日(金)	定例会	一般質問等について
9月10日(木)	総務委員会	所管事務調査
9月11日(金)	産業建設委員会	所管事務調査
9月18日(金)	定例会	決算・条例・補正予算等について

村提出案件 19件
議員提出議案 1件
4ページに掲載

決算特別委員会報告

平成26年度檜原村一般会計及び7つの特別会計の決算審査にあたりまして、その経過並びに結果を報告いたします。

去る9月4日の本会議において、本委員会に付託された案件は、平成26年度檜原村一般会計及び7つの特別会計歳入歳出決算の認定についての8つの案件です。

付託された案件は、去る9月15日に委員会を開催し細部に及ぶ審査を行いました。この8つの案件につきましては、平成26年度における、村の全ての事務事業執行上の実績報告書であり、大変重要度の高い案件であることを十分理解したうえで、各委員による積極的な質疑が行われました。質問は134件に及びました。

村側の詳細な説明と答弁を得ながら慎重に審査を行いました。8つの会計の総額は、歳入総額が、56億3千235万6千円、歳出総額が、54億7千551万8千円

となっております。

内容につきましては、防犯灯のLED化や複合施設（職員防災住宅）建設工事等に関する経費、村道・林道等の建設工事に関する経費、し尿、ごみ、上下水道等、環境衛生の改善に関する経費、加害獣侵入防止対策事業等、農作物の獣害対策に関する経費及び介護、医療、福祉等の向上に関する経費、並びに、重要文化財小林家住宅保存修理事業等の、教育に関する経費が主なものであります。

いずれも生活環境の改善、福祉の向上、産業の振興等、「自立を目指す村」として、村民が安全で安心して暮らせる村づくりを実現するために必要な支出となっております。

最後に総括質疑を行い、その後討論を省略

し、採決を行いました。8つの議案すべてが原案どおり「認定すべきもの」と決しました。以上、檜原村議会会議規則第40条の規定に基づき報告いたします。

平成27年9月18日
決算特別委員会委員長
清水 満男



条例

議案第69号

檜原村事務手数料条例の一部を改正する条例

議案第79号

檜原村個人情報保護条例の一部を改正する条例

(説明)

行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の施行に伴い、



社会保障・税番号 (マイナンバー) 制度とは

マイナンバーは住民票を有する全員に1人ひとつの番号を付して社会保障・税・災害対策の分野で効率的に情報を管理し、複数の機関に存在する個人情報と同一の情報であることを確認するためのものです。11月初旬にはマイナンバーが記載された「通知カード」が住所地に送付されます。

申請により希望者には「個人番号カード」が交付されます。個人番号カードは写真入りのICカードで身分証明書として利用できるほか、e-TAX等の各種電子申請が行えます。

議案第69号、79号について

反対討論

吉川 洋

いわゆるマイナンバー制度は一般的な暮らしのなかで人々にスポットを当てると本当に必要ないと思う。調べれば調べるほど複雑であり、現時点では自治体職員も分からない点が多々あるなかで見切り発車されている。

この制度は個人の情報を全て国が集められるというシステムである。国にとっては立法事実があるにしても、檜原村には立法事実はなく、自主財源で持ち出さなければならぬ作業がいろいろある。しかも、この先、個人がどの医療機関にかかったのかとか、どのような薬を購入したのかという個人情報も国は手に入れようと思えば入手できる。これらは住民にとってメリットではない。

この条例案への反対は村長に對してうんぬんではなく、議会としては、法定受託事務であつても国に對して反対の意思表示を示すべきと考えて、反対討論とする。

賛成討論

峰岸 茂

議案第69号、79号については、マイナンバー法、それから個人情報保護法、いわゆる国の法律改正によって行うものである。

これに伴ってこの条例改正をしなければならぬというのは当然であるので、私は賛成する。

賛成討論

清水 兵庫

マイナンバー法は法定受託事務であり、檜原村の事務手数料条例と個人情報保護条例の一部を改正することにより、住民サービス等の事務処理の簡素化と条例化しないことにより事務処理が停滞しかねないことがあるのではないかと思われるが、条例化することにより住民サービスが図られていくものだと考えるのである。

賛成討論

山崎 源重

冒頭に法定受託事務だということで、多分一番迷惑をされているのが役場の職員の皆さんではないかなというふうに私は思っている。

東京の端のこの小さな自治体で議論することがふさわしいか否かは本当に村議会議員としていかなものかというふうに思う。むしろ先ほども言ったように国の制度であるということをも前提として私は賛成討論とする。



平成27年第3回定例会で審議された議案と議決結果

議長 森田ちづよ ○=賛成 ×=反対

区分	議案名	議員名	議席番号									議決結果
			1	2	3	5	6	7	8	9		
			浜中 由造	中村 賢次	吉川 洋	峰岸 茂	清水 兵庫	山寄 源重	山口 和彦	清水 満男		
決算	第61号	平成26年度檜原村一般会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
決算	第62号	平成26年度檜原村国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
決算	第63号	平成26年度檜原村簡易水道特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
決算	第64号	平成26年度檜原村東京都都民の森管理運営事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
決算	第65号	平成26年度檜原村下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
決算	第66号	平成26年度檜原村介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
決算	第67号	平成26年度檜原村介護サービス事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
決算	第68号	平成26年度檜原村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
条例	第69号	檜原村事務手数料条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	○	○	○	○	○	可決
条例	第79号	檜原村個人情報保護条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	○	○	○	○	○	可決
契約	第70号	配水管布設替工事請負契約について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
補正予算	第71号	平成27年度檜原村一般会計補正予算（第2次）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
補正予算	第72号	平成27年度檜原村国民健康保険特別会計補正予算（事業勘定第1次、診療施設勘定第1次）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
補正予算	第73号	平成27年度檜原村簡易水道特別会計補正予算（第1次）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
補正予算	第74号	平成27年度檜原村東京都都民の森管理運営事業特別会計補正予算（第1次）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
補正予算	第75号	平成27年度檜原村下水道事業特別会計補正予算（第1次）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
補正予算	第76号	平成27年度檜原村介護保険特別会計補正予算（第2次）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
補正予算	第77号	平成27年度檜原村介護サービス事業特別会計補正予算（第1次）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
補正予算	第78号	平成27年度檜原村後期高齢者医療特別会計補正予算（第1次）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議員提出	第1号	地方税財源の拡充に関する意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

総務および産業建設委員会報告

総務委員会報告

総務委員会は9月10日に開催し、1件の所管事務調査を行いました。

3階建て、延床面積約370㎡で、2階、3階に計4世帯の防災住宅、1階部分は店舗が入ることを前提に平成25年度に設計されました。平成26年9月に工事を開始し、今年7月末に完成しました。

○複合施設（職員防災住宅） 建設工事

契約金額 9千892万8千円
契約業者 光壽建築(株)

上元郷地区の旧農協跡地に新たに建築された複合施設は鉄骨



防災住宅は大地震や台風等の自然災害に備え、職員が定住し、万が一の事態が発生した際にはいち早く役場に駆けつけられるように、役場の目と鼻の先に設置する必要があります。10月1日より2名の職員が入居しています。

1階部分は現在、役場の企画財政課むらづくり推進係の事務所が入っており、職員2名（うち1名は嘱託職員）に加え、9月より地域おこし協力隊員2名が配置され、空き家、移住・定住化対策及び買い物支援対策に取り組んでいただいています。

現在、村で設立に向け準備を進めている第3セクター（仮称・総合公社）では、この1階部分にミニスーパー形式の店舗



を整備し、買い物支援サービスの提供を含めた事業を計画しているとの説明が担当者よりありました。

委員長 中村 賢次



産業建設委員会報告

産業建設委員会は9月11日に開催し、1件の所管事務調査を行いました。

○村道第57号神戸線改良工事

契約金額 4千398万3千円
契約業者 翠高庭苑(株)

この改良工事は、神戸地区の村道の拡幅工事で平成21年度より進められてきました。



平成26年度事業においては、神戸大橋から上流方向に、既設の村道の山側に新道を150m建設し、徳泉寺入口付近で、既設の村道と接続し、スムーズに車両の通行ができるようになりました。

この新道は、L型のコンクリート擁壁を設置し、幅員が5.5mの道路を構築し、路面をアスファルト舗装で整備しています。今後、村道が整備され神戸地区の観光振興に大いに貢献が期待されます。

委員長 清水 満男



登壇8人 村政を問う

一般質問

9月議会の一般質問は9月4日に行われました。内容は、要約して受付順に掲載しています。

浜中 由造

議員



村における小中一貫教育の成果・課題について

教員同士の共通認識が生まれてきている

質問 ①5年目を迎える小中一貫教育のこれまでの成果・課題について
②一貫教育の基盤となるコミュニティースクールの取り組みについて、村としての考えは。
③がん教育について導入する考えはあるか。

教育長 ①教員同士の交流が進み、子どもたちと一緒に育てていくという共通認識が生まれてきている点が大きな成果である。

課題としては合同行事や授業交流の充実、授業形態におけるギャップの解消、心のケアを学園全体で共有できるように、更なる充実を図る必要があると考える。

②コミュニティースクールの導入については国の法改正等の進捗状況を見ながら検討する。

③若い段階からがんを含めた病気のリスク等の知識を深めることは重要であり、小中学校とも健康教育について総合的に授業を行っている。

質問 ①コミュニティースクールの情報収集、視察など前向きな取り組みを期待したいが。
②公的支援学習の一環として、塾に相当するような地元における学習機会が実施できないか。
教育課長 ①今後、情報収集を含め研究・検討していきたい。
②ニーズ等については調査していきたい。

プレミアム商品券について

消費喚起・生活支援としての役割は十分果たしている

質問 ①プレミアム商品券の効果、現状について

②今後のプレミアム商品券等の継続について

村長 ①あきる野商工会による今回の商品券のプレミアム率は20%で、村内の事業所で利用した場合、さらに10%のプレミアムをつけて、村内での利用促進を図っている。

効果については、用意した4万3千800冊が完売となつている状況を見ると、関心の高さと消費喚起・生活支援としての役割は十分果たしていると感じている。

②現時点では今回のみの事業であり、来年度については行わないものと考えている。

質問 ①村外の人々にプレミアムを付加させた応援券を発行してはどうか。

②プレミアム付商品券を割引に利用できるシニアカードを配布

し、高齢者の外出促進による介護予防や健康増進につなげてはどうか。

産業環境課長 ①観光協会の会員の方でそのような取り組みができないか話をさせていたいただく。

福祉けんこう課長 ②村が発行するヘルプカードと共に使用が可能かを含め、今後導入方法やメリット、活用方法など調査・研究を行っていききたいと考えている。



峰岸 茂

議員



高齢者や身体障がい者（児）等の介護者へのサポートを 家族介護慰労金支給要件の緩和 各種助成額の増額は検討する

②生活介護、施設入所支援等を実施し、村独自では腎臓機能障害者等通院交通費補助事業、重度障害者タクシー乗車料金助成事業を実施している。

質問 ①在宅介護者をサポートするため、介護で窮地に陥っている世帯の把握、家族介護慰労金支給要件の緩和、介護者が楽に介護できるような講習会の実施をしていただきたいが。

②障がい者や家族が災害時でも安心して通院できる体制と、村独自で行う各種助成金の増額を願いたい。

福祉けんこう課長 ①世帯の把握は地域包括支援センターの職員や保健師が地域に出向き情報収集を行っている。家族介護慰労金支給は介護保険との整合性を図りながら要件緩和を検討する。介護者向けの講習会は本年度の開催を考えている。

②災害時でも早急に支援できる体制、整備に努める。助成額の増額は、制度開始3年目の事業も含まれるので、検討する。

村民の日常的な生活の利便性 向上のための環境の整備・充実に工夫

総合公社の活用等により積極的に取り組む

質問 ①村における定住化促進施策の展開状況について。

②複合施設に設置予定のミニスーパーのような、村民の日常的な生活利便性向上のための施策を今後も展開する予定はあるか。

村長 ①村営住宅の整備等の住宅施策、各種補助制度の充実による子育て関連施策、空き家対策補助事業等の定住化促進施策を展開している。今後も総合計画に基づき、村の重点施策と位置づけ施策展開していく予定。

②住民ニーズの確かな把握に努めると共に、実現可能性の検討を行いつつ、総合公社の活用等により、積極的に取り組む。

質問 村民の日常的な生活利便性向上のためにコインランドリーと有料コピー機の設置を提案したいが。

企画財政課長 有料コピー機については複合施設の1階に予定しているミニスーパー形式の店舗内に設置が可能であると考えている。コインランドリーについては設置費用や設置場所、駐車場の問題、予想される利用対象者数など、検討すべき課題が多いので、今後設置に関する調査・研究から開始したいと考えている。



山口 和彦

議員



檜原学園小・中学校の 整備について 特別教室のエアコン設置は 予算要求していきたい

質問 ①教育長の教育に対する施政方針について。

②小・中一貫教育の中で校舎・グラウンド等の整備計画は。

③インターネット環境の整備計画は。

教育長 ①村の第5次総合計画にある心豊かな村民を育む村づく

本宿城山の整備計画について

いか。

産業環境課長 ① 弘沢の滝から

くりを基本に新しい価値観の創造、生涯を見通した基礎教育の充実、全ての人々が豊かに生きる教育支援の3点を指す。
② 改修等は長期総合計画の実施計画を基に行っているが、緊急の対応に備えて優先順位を考慮しつつ実施する。

弘沢の滝から檜原城跡、吉祥寺から本宿のルートを検討したい

質問 ① 城山の今後のPRの仕方。

② 今後の整備計画について

村長 ① 観光パンフレットへの

③ 小・中学校ともハード機器の整備、無線LANの設置等、整備が完了している。
質問 ① 教育大綱の進捗状況は。

② 吉祥寺からのルートについては吉祥寺住職と利用について相談をしていきたい。

② 特別教室のエアコン設置を予算措置していただきたいが。

② 吉祥寺からのルートについては吉祥寺住職と利用について相談をしていきたい。

企画財政課長 ① 村の総合計画を基本とし、教育委員会の主体性をも重んじ作成する村の考えを示し、教育委員と合意を得た。その後、教育大綱の素案を

質問 ① 城山の両側に弘沢の滝、吉祥寺の十三仏という観光的価値のあるものが背中合わせになっているが、つながっていないのもつたないと思う。つながって本宿を一周するようなルートができれば経済的効果も生まれるのでは。

検討、策定し、総合教育会議で決定する予定。

教育課長 ② 緊急な工事、改修等がなければ、来年度予算要求していきたくと考えている。

② 城山の頂上に城を復元できない

② 城山の頂上に城を復元できない



山崎 源重

議員



交通不便地域の是正を
考えてほしい

高齢者対策推進委員会で
審議・検討する

村長 高齢者福祉施策の観点から

の移送サービスを導入すべく、村高齢者対策推進委員会において審議・検討いただき、可能な限り早い時期に制度を構築できるよう取り組んでいきたいと考えている。

質問 ① 具体的にはどのように考えているのか。

② 今、進められているデマンドバスの現状と将来は。

福祉けんこう課長

① これまでに具体的な移送サービスの内容については審議・検討いただ

いていないが、今月委員会を開催し、村内における交通不便地区の高齢者数や道路状況などを検証し、どのようなサービスが適

しているか審議・検討願、制度構築に向け取り組んでいきたい。

企画財政課長 ② 下元郷、泉沢

地区へのデマンドバスに関し、来年度中の実証運行開始に向け準備を進めている。今後も該当地区があれば、順次拡大していきたい。

便地域の住民の足をどうするか村長の考えを伺う。

か村長の考えを伺う。

村内に駐車場の整備を

場所、利用頻度、財政的な問題を勘案して進める

質問 ①都道沿いに駐車場や川に下りる道を整備してほしいが、いかがか。

②駐車場を提供してもいいが、ごみを捨てられては困るとい場合、ごみの問題を考えてほしいが。

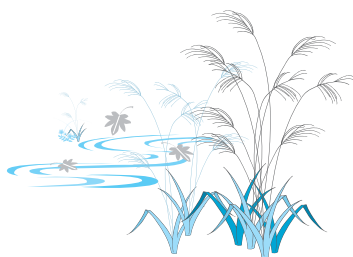
村長 ①より多くの方に檜原村で楽しんでいただくため、駐車場や川への遊歩道を整備したいと考えるが、設置場所や利用頻度、財政的な問題を勘案した上で、できるところは進めていきたいと考える。

②ごみは持ち帰ることが基本、河川などの降り口へごみの持ち帰りをすよう啓発していきたくいと考えている。

質問 檜原村のトイレにはどこにもトイレの表記がない。観光パンフレットには書いてあるが、道路を走っている観光客はトイレに気づかない。公衆トイレというような表記があれば

軽に寄れると思うが。

産業環境課長 車等で来る観光客に対しては駐車場や観光施設の案内看板にトイレがある場所を表記する。トイレ自体にも観光トイレなどという形の表記をしていきたいと考えているので、方法や看板の形等は検討させていただき、今後進めていきたくいと考えている。



清水 兵庫

議員



土曜日の教育活動について

自習や補教等の授業は行っていない

質問 檜原村では土曜日を活用した教育活動及び基礎学力の向上についてどのような方法で実施しているか以下について伺う。

- ①土曜授業の実施と予定。
- ②課外授業の実施と予定。
- ③学校が場所を提供しての土曜

学習の実施と予定。

④村だからこそこできる基礎学力向上授業の実施と予定。

教育長 土曜授業と家庭・地域での教育活動は社会問題となっている。小中学校とも標準授業時数を大きく上回っているが、夏休みを3日間短縮し、授業時数を確保している。自習や補教等による授業は行っていないが、内容の定着には大きな効果を上げている。

①昨年、小学校で年2日間実施。今年度は小中学校とも年2日間を予定。

②小学校の実績はない。中学校は毎週部活動の形で実施。

③実績はないが、社会教育等においてスポーツ教室等を行う場合がある。

④夏季休業中の補習を実施し、学力向上・定着を図っている。

住民訴訟とは何であったか

行政改革の実績が司法に認められた

質問 平成17年から続いた住民訴訟が昨年4月に終結し、同年

6月の一般質問で確認されていない事項があると考え、以下の件について伺う。

①裁判では行政改革が評価されたが、人事面の効果はどうか。

②議決事件としての地方自治法第96条第1項第10号についてどのように考えるか。

村長 2度にわたって行われた住民訴訟のうち、村代表監査委員を相手取った東京高裁の確定判決を示すものと受け止め答弁する。

①判決には示されていないが、人事面の効果として、職員のモチベーションアップと職場の人心一新が図られ、硬直化しつつあった行政組織を活性化する大きな改革であったと考える。その後も年功序列にとらわれない人事異動と職員配置を実施している。

②議決事件としての権利を放棄することは、議会の自律権に属する事項であり、意見を述べる立場にないが、一般論として村に及ぼす影響を総合的に勘案し、議会が判断すべき事項であると考えられる。

中村 賢次

議員



防犯カメラについて

弘沢の滝バス停、数馬の湯に設置を検討

用されたことはあるか。

村長 ①村が管理している公共施設に7ヶ所、19台ある。

②8月に警察からの依頼で、交通事故の捜査に庁舎の防犯カメラの映像を提供した。

質問 ①犯罪の抑止を目的として、多くの児童・生徒・観光客が乗り降りする弘沢の滝入口バス停付近に設置が必要と考えるがいかがか。

②村の指定管理施設になっている温泉センター数馬の湯には、カメラが設置されていない。過去には盗難事件が発生しており、最近では玄関のガラスにヒビが入っていた事件もあった。夜間は留守になるのでカメラの設置が必要と考えるが。

総務課長 ①小中学生の通学に際し、パトロール員をつけ安全を確保していると考えていたが、夜間やトイレの利用等もあるので、検討していきたい。

②今後指定管理者の意見も聞き、設置する方向で検討していきたい。

質問 村民の安心・安全確保のため、防犯カメラの設置が必要と考え、以下のことについて村長に伺う。

①現在、村内に防犯カメラは何か所で何台設置されているか。

②既に設置されている場合、記録された映像が何かの検証に利

認知症対策について

認知症サポーター養成講座を開催

開催

質問 2025年、65歳以上の5人に1人が認知症患者であるとされている。そこで以下のことについて村長に伺う。

①村の65歳以上の高齢者で、認知症と診断された人は何人いるか。

②国の方針（新オレンジプラン）に基づき、村が行っている施策はあるか。

村長 ①介護サービスを利用していない方の診断名は把握していない。

②認知症への理解を深めるため、認知症サポーターの養成講座を開催している。今後は講座修了者の復習を兼ねた学習の機会を設けるなど地域包括支援センターを中心に取り組んでいきたい。

質問 認知症にかかりやすいか否かを判定する方法があると聞くが、村では導入する考えはあるか。

福祉けんこう課長 仮説に基づき推論されたものであると認識している。今後検証がなされると思うので推移を見守りたい。

質問 多様な高齢者向け住まいの確保と、高齢者の生活支援を行う施設の整備を図っていたらきたいと考えるが。

福祉けんこう課長 檜原村高齢者対策推進委員会や実務者会で、様々な支援について審議、検討を願い、高齢者にやさしい地域づくりの推進に取り組んでいきたい。



清水 満男

議員



農道・林道を生活道として利用している人への支援を

都の管理する林道も村道と同様な管理をする

質問 ①村道・林道・農道の管理状況について

②冬季節間における融雪剤の配備及び除雪について

村長 ①村道・林道・農道はそれぞれの基準に基づき設計、施行、認定している。生活道として利用される林道・農道は村道

と同様な考えで管理している。

②融雪剤は村が管理している林道・農道に2袋程度置いてい
る。除雪は交通量の多い都道・
村道の順に実施し、生活道であ
る林道の機械が入れない所は住
民に依頼しているが、高齢化等
で雪掃きが難しい地区が増えて
きたので、除雪に関するマニュ
アルを見直していく。

質問 都の管理する林道も村道
と同様の対応をすべきではない
のか。

産業環境課長 都に融雪剤の設
置を要望し、村の賃金を使って
除雪をしていたりなど、生活
道として使っている道は村道と
同様な管理をしていきたい。

質問 自分の利用している道路
の種類を認識している人は少な
く、情報等を広報で知らせるべ
きではないか。

産業環境課長 地域防災計画に
定められている除雪対策に基づ
き、マニュアルを見直した上で
住民に公表し、理解に努めてい
きたいと考えている。

農作物生産の奨励等について

支援内容等含め検討したい

質問 耕作放棄地を利用し、獣
害に強く比較的管理が容易な量
産のできる農作物の生産に対
し、奨励ができないか伺う。
①コンニャク芋等の生産に対す
る奨励について
②コンニャク芋等の販売におけ
る今後の支援等について

村長 ①施策、研究に取り組む
組織・団体等に対し、支援内容
等含め検討したい。

②団体等により取りまとめの仕
組みづくりができれば、販路に
ついで支援等も取り組んでい
けると考えている。また村内に
製造業者もいるので、販路の拡
大をしていければと考えてい
る。

質問 個々にも支援ができれば
もっと活発になるのではない
か。
産業環境課長 個人への支援で
は檜原村ものづくりチャレンジ
支援事業補助金制度がある。利
用について案内し、活用してい

たいただきたい。

質問 新公社設立に伴い、じゃ
がいも、ルバーブ、その他共に
公社で仲買し、個々でも販売で
きるよう対応できないか。

産業環境課長 コンニャク芋の
栽培の仕組みづくり、じゃがい
もの仲買については今後庁内で
検討したい。ルバーブについて
は組合と調整を図り進めていき
たいと考えている。



吉川 洋

議員



未来に誇れる活力ある
村づくりについて

財政調整基金は積極的に
活用していきたい

すべきと考えるがどうか。

村長 ①日本全体が人口減少社
会に転じており、村においても
人口の減少が続いている状況下
で、直ちに人口増に転換するこ
とは困難である。今後は、定住
環境の整備充実のための施策を
さらに推進し、住民の定住化と
流入人口の増加を図っていきた
い。

②財政調整基金等は年度間にお
ける村財政運営の健全性を担保
しつつ、檜原村が檜原村であり
つづけるため、未来に誇れる村
づくりにはふさわしい、第5次総
合計画への適合を判断基準とし
て、村の資源や観光基盤の整備
等にも積極的に活用していきたい。

質問 いつから人口増に転換で
きるか明確な答弁がないが。

企画財政課長 村に新しい人の
流れをつくるため、Uターン、
Iターン者の雇用の場の確保な
ど今後設置予定の総合公社、地
域おこし協力隊等を活用し事業
展開していく。

質問 ①第5次総合計画では村
の人口は目標2千500人というこ
とだが現在は2千360人である。
第5次総合計画および実施計
画、地方創生事業などで、いつ
から人口増に転換できるのか。
②財政調整基金等（貯金）の活
用で村の資源や観光基盤を推進

次ページへつづく

教育行政のしくみ

フリースクールを受け入れるか
どうかは今後考える

質問 ①人口減少が続いている
檜原村の小中学校で教育環境へ
の影響をどのように考えるか。

②全国に77団体あるフリースク
ールなどの誘致と評価について
どう考えるか。

教育長 ①学校教育においては
団体教育で行う競技等が難し
く、限られた人との関わりにな
りやすいこと。社会教育におい
ては各種教室やイベントへの参
加者については影響が大きいと
感じている。反面、教育環境を
含めた点では、少人数教育の効
果も高く、成果も挙がっている
と考えている。

②既存の学校に始めずに、長
期にわたり学校を欠席している
子どもたちの受け皿として、国
においてもそこでの学習を認め
る方向にある。安心して過ごせ
る場所の提供、学習に関するサ
ポートを行う等、不登校の子ど
もたちの選択肢の一環を担って



いることは評価している。

しかし、過去に類似施設を受
け入れたところ20年の予定が6
年で撤退し、地域住民とのトラ
ブル等もあったことを考慮し、
誘致は考えていない。

質問 過去の失敗を糧としてよ
りいい形で導入できないか。

教育課長 研究、検討を重ねた
上で受け入れるかどうか考えて
いきたい。

- 定例会初日 11月30日(月)
- 常任委員会 12月3日(木)
12月4日(金)
- 定例会最終日 12月11日(金)

12月議会のお知らせ
(予定)

編集後記

晩秋の頃、檜原も紅葉が見ごろ
となり、寒さも一段と肌に感じる
ようになりました。

さて議員となり早7ヶ月が過ぎ
ました。やる事成す事がすべて初
めての事でいろいろ戸惑いまし
た。先輩議員、その他の人たちが
ら、最初は皆同じ1年生だから勉
強しながら覚えれば良いと助言さ
れました。社会人になった時もそ
うでした。新たな一歩を踏み出す
時、周りの人の心遣いがその人を
育てていく事、今回も改めて思い
ました。今後も皆様にご指導いた
だき、協力し合い、議会活動に全
力を捧げます。

さて、議会だより編集委員は5
月に全員が入れ替わり、新人の議
員で構成されています。今回2回
目ですが、いろいろな意見が討議
され、皆張り切っております。
村民の皆さまにわかりやすく親
しみのもてる議会だよりになるよ
う今後とも努力していきます。

- 委員長 峰岸 茂 (清水)
副委員長 清水 満男
委員 浜中 由造
吉川 洋

訂正とお詫び

No.142 8月号、2ページの議員紹介で森田ちづよ議員の家族構成欄に誤りがありました。
「妻・子2人」となっていたのですが、正しくは「夫・子2人」です。大変失礼いたしました。ここに訂正とお詫びを申し上
げます。